2011 年 5 月発行第 2 巻第 2 号通巻第 11 号

大阪・サンパウロ姉妹都市協会ニュースレター

大阪・サンパウロ姉妹都市協会の会員の皆様に、当協会の活動状況や連載コラム、
ブラジル関連の最新のニュースなどホットな話題をお届けします。

サンパウロで想ったこと　　大阪・サンパウロ姉妹都市協会　会長　岡田　茂男

4 月 25 日 5 時 30 分約 30 時間の旅を終え、今年 2 度目の出張でサンパウロに到着。入国審査、税関審査でそれぞれ 1 時間、タクシーの順番待ちで 70 分、それから車渋滞、ホテルに着いたら 10 時 30 分だった。イースター休暇明けで海外からの帰国者が集中した為とタクシーの運転手は説明するが、こんなことで、2014 年の世界サッカー大会と 2016 年のオリンピックは大丈夫かと不安を感じてしまう。カンピーナス市は近くで 1970 年代国際空港であったビラコポス空港の拡張を主張し、グァリューロス市は現在の空港の拡張を主張して譲らないどちらでも良いから早く着工することが重要と思うのは外国人だからか。

空港の免税品店では、老いも若きもブランド物のバッグやスーツケースを持ち、支払いの長い列に並んでいる。現在のブラジル人はハイパーインフレの解消と共に、強くなった自国通貨での生活をエンジョイしている。1994 年 7 月 1 日 1 レアル＝1 米ドルで始まったレアル計画、17 年経過した今日、1 米ドル=1.6 レアルと、60%程しか切下がっていない。日本だったら大変な下落と大騒ぎするだろうが、1993 年年間切り下げ率が 2,500%超の生活をリオで体験した私にとってはブラジル人同様、夢のようである。

高層ビルがそびえる中心街に入れば車渋滞、今やサンパウロでは常態化しており、パウリスターノは諦め顔である。朝夕のラッシュ時はナンバープレートで車数制限してもである。規制時間帯では、末尾番号 1 と 2 は月曜日は運転できない。3 と 4 は火曜日は駄目。今や世界第 4 位の自動車生産国であるブラジルでは韓国製自動車が元気一杯走り回っている、燃費が 30%以上良いトヨタ、ホンダ等の日本車より 20%以上安いのが理由、今すぐ出て行くお金がブラジル人にとって重要なのである。しかもブラジル人は新し物好きで、旧型を売っても見向きもされない、メーカーにとって厳しい市場である。

5 月 3 日 FAAP 大学の国際学部長と面談、大阪市から派遣する井寺美樹さんの紹介および FAAP 大学での受講打ち合わせとブラジル学生の大阪側の受け入れ体制につき説明。東日本大震災の影響につき心配顔で尋ねられたので、日本はひとつ、被災地における略奪、犯罪も無く復興に向けて立ち上がっていると説明、安心してもらった。

同日、日本語普及センター副理事長の来訪あり、来年度に日本に派遣する約 40 人の中・高校生の受け入れにつき打ち合わせる。日系の人達が、3 世、4 世の子供達に日本語の学習と日本の素晴らしさを見せてやりたいと 2 年毎に訪日させるプロジェクトである。費用は両親が負担する由。自分の食べる物も減らし、子弟の高等教育に励まれた移民の方々の筆舌に尽くせぬご苦労が見事花を咲かせていると感激した次第。我々も年に 1 人の学生を派遣するのではなく、もっと裾野を広げた活動を推進しなくてはと決意を新たにした。

5 月 11 日サンパウロ市役所国際局長と面談。8 月に派遣する井寺さんの紹介と応接を依頼。更に大阪市が後援しているセレッソ球団が毎年サンパウロで行われる青少年サッカー全国大会に出場したい希望を持っていることを伝え協力の約束を取り付ける。日本でいえば、サッカーの夏の甲子園である。ブラジル全土から、海外から強豪チームが集まり、決勝戦はサンパウロ市の創立記念日である 1 月 25 日に行われる。4 万人を超す観客と共にプロのスカウトがスタンドから見つめている試合。こんな環境で大阪の青少年が競技出来れば必ず将来の為になると考る。

5 月 13 日サンパウロ商工会議所昼食会で講師のマットグロッソ州副知事に未開発地帯の開発も重要だが豊富な水に加え酸素を供給する熱帯雨林など自然の保護が地球全体にとって重要である。従い何とか米国や中国等酸素消費国に酸素を売る仕組みを考えないかと提案、2 年前に東京のブラジル大使館でアマゾニア州知事にも同じ事を申し上げた。

5 月 13 日、商工会議所昼食会にて大部総領事と

18 年以上のブラジル駐在で数多くのブラジル人、日系の方々の知己を得た。ブラジル人には『大きなグランドデザインを描ける』特性と底抜けの明るさがあり、日本人には『こつこつと忍耐強く微細な細工が出来る』技術がある。両者の長所を組み合わせれば素晴らしい社会が構築出来るのではないか？姉妹都市協会の活動を通じてもっともっと両国、両市の親交が深まるように、双方に有益なプロジェクトが出来るよう尽力せねばと再認識した出張であった。

会員のみなさまからのメッセージや掲載記事を募集していますので是非お寄せ下さい！

大阪の姉妹都市 サンパウロ市を訪れてみませんか

大阪・サンパウロ姉妹都市協会では、この夏、ブラジルの旅を開催します。会員のみなさまに満足していただけるよう、大阪市の姉妹都市である、サンパウロ市の市役所表敬訪問、リオデジャネイロでのサンバショー、ブラジル側・アルゼンチン側の両方からイグアスの滝を見学するツアーなど盛りだくさんの内容となっています。別紙の旅程表にて、詳細をご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

ツアーでの滞在先は、4・5 つ星のホテルをご用意しております。添乗員も同行いたしますので、初めてブラジルへ旅行される方にも安心して滞在していただく事ができます。

○お申し込みの流れ○

別紙受付書をご記入頂き、当協会事務局へお送り頂きます。その後、日通旅行の担当者より、旅行申込書などの書類をお送りいたします。旅行申込書をご記入の上、お申込金（50,000 円）を添えて、日通旅行 日本通運㈱までお申込みください。受付書の締め切りは、7 月 12 日（火）です。また、ツアーの詳しい詳細やご質問は、日通旅行の担当がお答え致しますのでお気軽にお申し付けください。

ツアー受付窓口：大阪・サンパウロ姉妹都市協会事務局　担当（泉井・早野・吉野）

（電話番号：06-6772-9670　FAX：06-6772-9790　メール：sisterc@ih-osaka.or.jp）

ツアーに関するご質問・お問い合わせ：日本通運㈱　大阪旅行支店　担当：水野（電話番号：06-6231-0303）

●ご感想をお聞かせください。ニュースレターの配信停止を希望される方は下記連絡先までご連絡ください。●

(財)大阪国際交流センター　情報企画部内　姉妹都市協会担当：泉井・早野・吉野

メール：sisterc@ih-osaka.or.jp　電話：06-6772-9670　FAX：06-6772-9790

エミレーツ航空で行く
大阪・サンパウロ姉妹都市協会
ブラジルの旅　１１日間

旅行代金：598，000円

お二人様で1部屋利用、エコノミークラス利用
日本国内空港施設利用料（関西空港2，650円）、ブラジル空港税約7，180円（2011年5月31日目安）
燃油付加運賃約35，000円（2011年5月31日目安）は旅行代金に含まれておりません。
最小催行人員：10名様　添乗員：同行してお世話致します。

日	月日・曜日	都市発着	現地時刻	便　名	予　定
1	２０１１年 ８／１９ （金）	関西空港発	２３：３５	ＥＫ３１７	関西国際空港より出国審査を終え、空路ドバイにて 乗継ぎ、サンパウロに向かいます。 ≪食事／夕機内　宿泊／機　中　泊≫
2	８／２０ （土）	ドバイ着 ドバイ発 サンパウロ着	０５：０５ 午前 夕刻	航空機 専用車	ドバイにて乗り継ぎます。 サンパウロ着後ホテルにご案内します。 夕食はシュラスコ料理です。 ≪食事／機内　夕○　宿泊／サンパウロ≫
3	８／２１ （日）	サンパウロ	終日	専用車	サンパウロ市役所表敬訪問など 昼食は熱帯ブラジル料理、夕食は日本食です。 ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／サンパウロ≫
4	８／２２ （月）	サンパウロ サントス	終日	専用車	サントス視察に向かいます ●日本移民ブラジル上陸記念碑など 昼食はイタリアン、夕食は中華です。 ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／サンパウロ≫
5	８／２３ （火）	サンパウロ発 イグアス着	午後 午後	航空機 専用車	空路、イグアスに向かいます。 着後、●ブラジル側の滝見学 ショーを見ながらの夕食をお楽しみ下さい。 ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／イグアス≫
6	８／２４ （水）	イグアス イグアス発 ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ着	終日 午前 午後 午後	専用車 航空機 専用車	●アルゼンチン側の滝見学●イタイプダム ショッピングなど自由行動 空路、リオデジャネイロへ。着後ホテルへ ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ≫
7	８／２５ （木）	ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ	終日	専用車	市内視察 夜はサンバショーを見学 ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ≫
8	８／２６ （金）	ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ発 サルバドール 着	午前 午前	航空機 専用車	空路、サルバドールへ 着後、市内観光へご案内します。 夕食はショーをご覧いただきながら ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／サルバドール≫
9	８／２７ （土）	サルバドール サルバドール 発 サンパウロ着	夕刻 夜	専用車 航空機	黒人のローマと呼ばれる古都を視察 空路、サンパウロ（コンゴーニャス）に向かいます。 夕食はサンパウロにて日本食です。 ≪食事／朝○昼○夕○　宿泊／機　中　泊≫
10	８／２８ （日）	サンパウロ発 ドバイ着	０１：２５ ２３：０５	ＥＫ２６２	サンパウロにて出国審査の後、帰国の途につきます ≪食事／機内　宿泊／機　中　泊≫
11	８／２９ （月）	ドバイ発 関西空港着	０３：００ １７：１０	ＥＫ３１６	ドバイにて乗継ぎ関西空港へ 関西国際空港到着後、入国審査、税関検査 の後解散となります。

この旅程表は平成２３年５月３１日を基準にしておりますので、内容が運送機関、宿泊施設、現地事情等により予告なく変更になることがございます。予めご了承下さい。

日通旅行 NIPPON EXPRESS　日本通運株式会社　大阪旅行支店

□ご利用予定航空会社：ＥＫ（エミレーツ航空）エコノミークラス
□ご利用予定ホテル：サンパウロ／ＢＲＵＥ　ＴＲＥＥ　ＰＡＵＬＩＳＴＡ
イグアス／ＭＡＢＵ　ＴＨＥＲＭＡＳ　ＲＥＳＯＲＴ
リオデジャネイロ／ＧＯＬＤＥＮ　ＴＵＬＩＰ　ＲＥＧＥＮＴＥ
サルバドール／ＰＥＳＴＡＮＡ
□添乗員：同行してお世話させていただきます。
□食　事：朝食７回、昼食７回、夕食８回
□パスポート：ビザ申請時６ケ月以上有効な旅券が必要です。未使用査証欄が見開き２ページ以上必要です。
□査証（ビザ）：観光査証が必要になります。弊社手配の場合１２，９００円かかります。
□予防接種：今回は必要ありません。
□航空会社にお預けになるお荷物の重さ制限：お一人様３０ｋｇまでとなっております。それを超えると超過料金が請求されます。
□液体物の機内への持ち込み：基本的にはできません。ただし１００ｍｌ以下の必要なものは持ち込みできます。

時間帯の目安:早朝=4:00～5:59 朝=6:00～7:59 午前=8:00～11:59 午後=12:00～13:59(昼=12:00～13:59 夕刻=16:00～17:59)
夜=18:00～22:59 深夜=23:00～03:59

旅　行　条　件（要約）　※お申し込みの際は、必ず受注型企画旅行条件書をお受け取り下さい。

【受注型企画旅行契約】
・この旅行は、日本通運㈱大阪旅行支店（大阪市中央区北浜 1-1-6、観光庁長官登録旅行業第 19 号）（以下当社といいます）がお客様の依頼により旅行の目的地及び日程、お客様が提供を受けることができる運送等サービスの内容並びにお客様が当社に支払うべき旅行代金の額を定めた旅行に関する計画を作成し、これにより実施する旅行をいい、お客様はは当社と受注型企画旅行契約を締結することになります。
・旅行契約の内容・条件は、当パンフレットによるほか、別途お渡しする「海外手配旅行のお取引条件とご契約内容について」（以下「条件書」といいます）、確定書面（最終日程表）及び当社の旅行業約款（受注型企画旅行の部）によります。

【旅行のお申し込み・契約成立の時期】
・当社所定の旅行申込書を記入の上、下記の申込金を添えてお申し込みいただきます。　**お申込金……50,000 円**
・申込金は、旅行代金、取消料、違約料の一部として取扱います。
・お客様との旅行契約については、当社の承諾と上記の申込金の受理を持って成立するものといたします。

【旅行代金のお支払い】
・残金は旅行出発の前日から起算してさかのぼって21 日目にあたる前にお支払いいただきます。

【旅行代金に含まれるもの】
・旅行日程に明示した利用交通機関の運賃（エコノミークラス）、料金、バス料金、観光料金（バス料金、ガイド料金、入場料）
・旅行日程に明示した宿泊料金及び税・サービス料金（バス・トイレ付き２人部屋に２人ずつの宿泊を基準とします）
・旅行日程に明示した食事料金（機内食を除く）
・手荷物運搬料金（原則として１人１個。ただし、航空会社の規定重量・容積・個数の範囲内）
・団体行動に必要な心づけ
・**添乗員の同行費用**

【旅行代金に含まれないもの】
・旅券印紙代９０００円（５年用）、１４０００円（１０年用）、証紙代２０００円（５年用，１０年用）・査証料、予防接種料金、傷害・疾病保険料
・超過手荷物料金
・ブラジル査証（弊社で手配する場合手数料含め１２９００円）
・飲み物代、クリーニング代、電報・電話料、ホテルのボーイ・メイドなどに対するチップ、その他追加飲食費等、個人的性質の諸費用及びそれに伴う税、サービス料
・お一人部屋を利用される場合の追加料金（４９，０００円）
・お客様の傷害・疾病に関する医療費
・日本国内の空港施設使用料（関西空港 2,650 円）
・ブラジル内空港税（７，１８０円　5月31日目安）
・航空保険料・燃油付加運賃（３５，０００円　5月31日目安）

【旅行契約内容・代金の変更】
当社は、旅行契約の内容を変更し、旅行代金を変更することがあります。詳しくは、「条件書」によります。

【取消料】　・お客様はいつでも下記の取消料を支払って旅行契約を解除することができます。・当社の責任とならないローン、渡航手続の事由によるお取消の場合も下記の取消料をいただきます。

解　除　期　間　等　／　取 消 料
●旅行開始日の前日からさかのぼって３０～３日目まで／５０,０００円
●旅行開始日の前々日及び前日　／旅行代金の３０％
●旅行開始日の当日　／旅行代金の５０％
●無連絡不参加及び旅行開始後の解除　／旅行代金の１００％

【当社の責任】当社又は手配代行者がお客様に損害を与えたときは損害を賠償いたします。その他は「条件書」によります。
【お客様の責任】当社はお客様の故意又は過失、法令もしくは公序良俗に反する行為により当社が損害を被った時はお客様から損害の賠償を申し受けます。
【特別補償】当社は責任の有無にかかわらず、お客様が当旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により、生命、身体又は手荷物に被った一定の損害について補償金及び見舞金を支払います。詳しくは「条件書」によります。
【旅程保証】旅行日程に重要な変更が行われた場合には、当社はその変更内容に応じて変更保証金を支払います。詳しくは『条件書』によります。
【クレジットカード利用の通信契約】当社は当社が提携するクレジットカード会社の会員（以下『会員』といいます）より、会員の署名なくして旅行代金等のお支払いを受けること（以下『通信契約』といいます）を条件に電話その他の手段による旅行のお申込みを受ける場合があります。その場合、会員は『出発日』『旅行名』に加えて『カード名』『カード番号』『カード有効期限』等を当社にお申し出いただきます。

【最終日程表の交付時期】
確定した主な運送機関名及び宿泊ホテル名が記載された最終日程表は旅行開始日の７日前までに交付します。なお、期日前であってもお問い合わせいただければ手配状況についてご説明いたします。
【個人情報の取り扱いについて】当社は、旅行申込みの際にお申込書にご記入いただきましたお客様の個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行の手配において必要な範囲内で、運送・宿泊機関及び手配代行者に提供させていただきます。

【旅行条件・旅行代金の基準日】
この旅行条件は、下記の日付を基準としております。2011 年５月31 日

その他の詳細な旅行条件は、最終日程表、別途お渡しする旅行条件書ならびに当社旅行業約款手配旅行契約に基づきます。
総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です，この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があればご遠慮なく下記の取扱管理者にお尋ねください。

外務省の「海外危険情報」について：渡航先（国又は地域）によっては、「外務省海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が出されている場合があります。「外務省海外安全ホームページ：http://www.pubanzen.mofa.go.jp/」でご確認下さい。渡航先(国または地域)の衛生状況については、「厚生労働省検疫感染症情報ホームページ：http://www.forth.go.jp/」でご確認下さい。

お問い合わせ・お申し込みは
日通旅行
日本通運（株）大阪旅行支店　営業第１課
〒541-0041　大阪市中央区北浜 1-1-6　日通北浜ビル２階
電話 06-6231-0303　FAX06-6201-1991
担当：水野　手続担当：金山
営業時間:月～金　9:00～18:00(土･日･祝日を除く)
観光庁長官登録旅行業第 19 号･日本旅行業協会会員･
総合旅行業務取扱管理者:浜田　尚宏
日通旅行ホームページ　http://www15.nittsu.co.jp/travel/

旅行企画・実施
日通旅行［日本通運(株)大阪旅行支店］
観光庁長官登録旅行業第 19 号･(社)日本旅行業協会会員
大阪市中央区北浜 1-1-6

大阪・サンパウロ姉妹都市協会 ″ブラジルの旅″ 旅行受付書

平成23年　　月　　日

ふりがな	
氏　名	
住　所	〒　　－
TEL	（　　）
FAX	（　　）
E-mail	@
参加人数	人（お申込者ご本人を含む）
参加者名	様
	様
	様
	様
	様

こちらのお申込書をご記入頂き、ファックス・メール・郵送にて下記までお送り頂きますようよろしくお願い致します。
大阪・サンパウロ姉妹都市協会にて受付書を確認後、日通旅行 日本通運㈱より旅行申込書などの必要書類をお送りさせていただきます。

※このお申込書にご記入いただいた個人情報は協会関連事業のみに使用し、他の用途には一切使用しません。

大阪・サンパウロ姉妹都市協会事務局　担当：泉井・早野・吉野
TEL.06-6772-9670　FAX.06-6772-9790
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6 （財）大阪国際交流センター内